

# 2019年12月期 決算資料

スター精密株式会社

<https://www.star-m.jp>

証券コード 7718

2020年2月13日

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## <2019年12月期決算資料>

■ 決算期の変更について	P 2
■ 連結業績概況	P 3
■ 連結業績見通し	P 4
■ 四半期情報（売上高）	P 5
■ 事業別概況	
特機事業	P 6
工作機械事業	P 7
精密部品事業	P 8
■ 設備投資/研究開発費	P 9
■ 貸借対照表	P 10
■ キャッシュ・フロー	P 11
■ 主な経営指標	P 12
■ 株主還元	P 13

## <中期経営計画 進捗状況>

■ 中期経営計画 進捗状況	P 15
■ 各事業における取り組み内容と課題	P 16

## <参考資料>

■ 工作機械受注台数<四半期推移>	P 18
■ 経営指標の推移（過去10年間）	P 19
■ 事業および取扱い製品	P 20

# 決算期の変更について



前期（2018年12月期）に決算期を2月末日から12月31日に変更し、  
当期より当社および連結子会社の会計年度は、すべて1月1日から12月31日となっております。

2019年12月期（当期）												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
当社および すべての連結子会社	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		

2018年12月期（前期）												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
当社および 国内連結子会社	/		第1四半期			第2四半期			第3四半期			
海外連結子会社			第1四半期			第2四半期			第3四半期			

～2018年2月期（従来決算期）														
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
当社および 国内連結子会社	/		第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
海外連結子会社			第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		

(百万円)

	2018年12月期 実績 <sup>※1</sup>		2018年12月期 参考 <sup>※2</sup>		2019年12月期 実績		
	金額	利益率 (%)	金額	利益率 (%)	金額	利益率 (%)	対前期参考値比 (%)
売上高 特 機	12,651		13,030		12,542		△3.7
工作機械	49,337		50,829		44,920		△11.6
精密部品	3,950		4,290		3,188		△25.7
合計	65,939		68,151		60,651		△11.0
営業利益 特 機	2,265	17.9	2,136	16.4	1,614	12.9	△24.4
工作機械	9,389	19.0	9,304	18.3	6,332	14.1	△31.9
精密部品	322	8.2	357	8.3	184	5.8	△48.4
消去又は全社	△2,265		△2,616		△2,314		
合計	9,712	14.7	9,181	13.5	5,817	9.6	△36.6
経常利益	9,570	14.5	9,041	13.3	6,161	10.2	△31.9
親会社株主に帰属する当期純利益	6,795	10.3	6,141	9.0	4,053	6.7	△34.0

ROE (%)	14.3	-	8.3
1株当たり配当金	54円	-	56円
DOE (%)	4.1	-	4.1

為替 レート	US \$	110.44円	109.06円
	EUR	130.42円	122.08円
	GBP	147.48円	139.27円
	CHF	112.96円	109.72円

※1. 2018年12月期 実績は当社および国内連結子会社は10カ月、海外連結子会社12カ月を連結対象期間としています。

※2. 2018年12月期 参考として示す数値は、2019年12月期実績に対して同条件（国内・海外ともに12カ月間）で比較を行うために算出した参考値です。

(百万円)

	2019年12月期 実績		2020年12月期 予想						
	金額	利益率 (%)	上期		下期		通期		
			金額	利益率 (%)	金額	利益率 (%)	金額	利益率 (%)	対前期比 (%)
売上高 特 機	12,542		6,040		6,510		12,550		+0.1
工作機械	44,920		19,920		21,430		41,350		△7.9
精密部品	3,188		640		660		1,300		△59.2
合計	60,651		26,600		28,600		55,200		△9.0
営業利益 特 機	1,614	12.9	500	8.3	870	13.4	1,370	10.9	△15.1
工作機械	6,332	14.1	2,700	13.6	2,700	12.6	5,400	13.1	△14.7
精密部品	184	5.8	△90	-	170	25.8	80	6.2	△56.6
消去又は全社	△2,314		△1,110		△1,140		△2,250		
合計	5,817	9.6	2,000	7.5	2,600	9.1	4,600	8.3	△20.9
経常利益	6,161	10.2	2,100	7.9	2,700	9.4	4,800	8.7	△22.1
親会社株主に帰属する当期純利益	4,053	6.7	1,200	4.5	2,000	7.0	3,200	5.8	△21.1

ROE (%)	8.3
1株当たり配当金	56円
DOE (%)	4.1

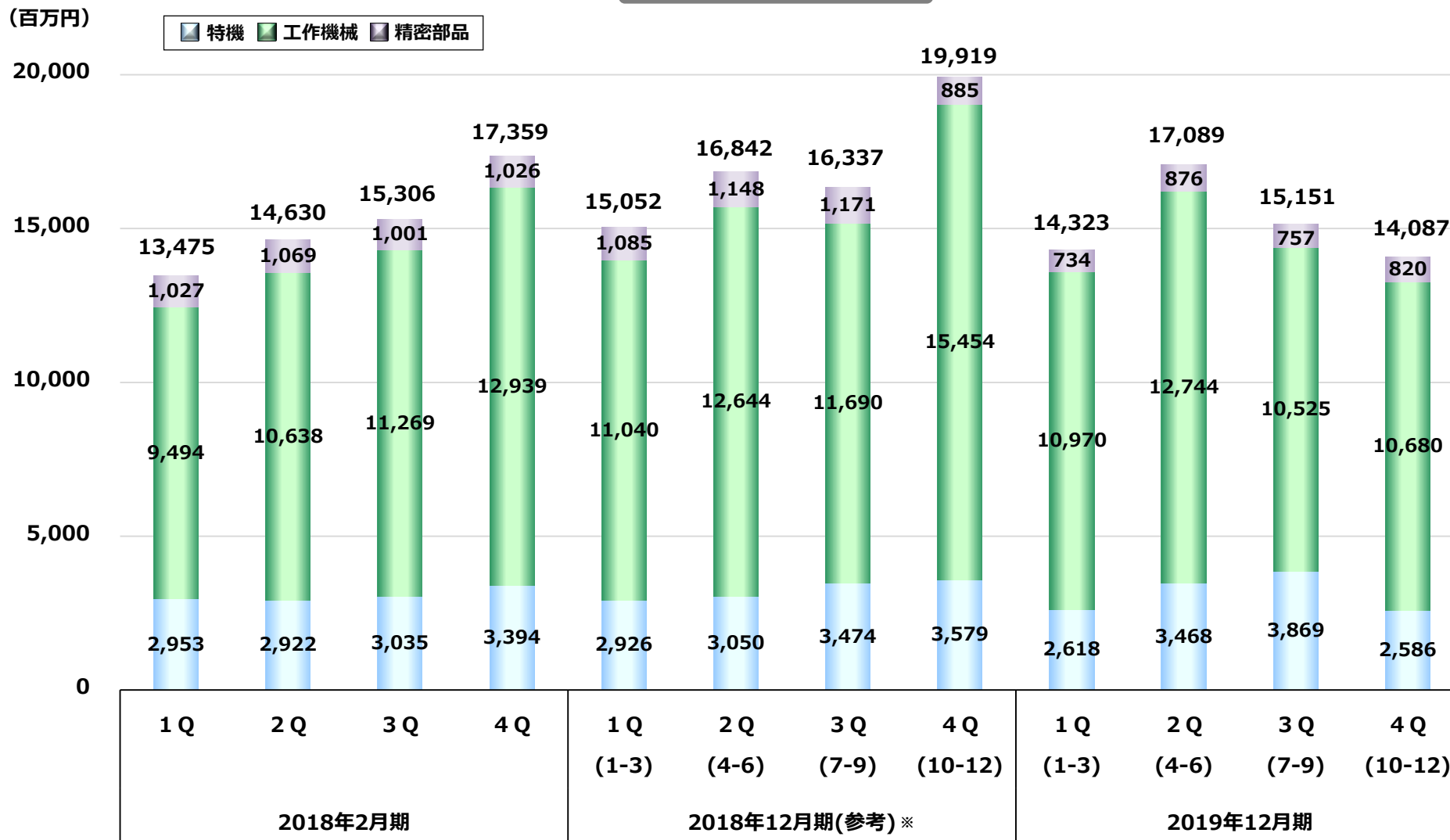
6.5
60円(記念配当4円を含む)
4.3

為替 レート	US \$	109.06円
	EUR	122.08円
	GBP	139.27円
	CHF	109.72円

通期予想レート	為替感応度*
105.00円	67百万円
115.00円	45百万円
140.00円	7百万円
110.00円	24百万円

※為替感応度は、外貨1円当たりにおける営業利益影響度

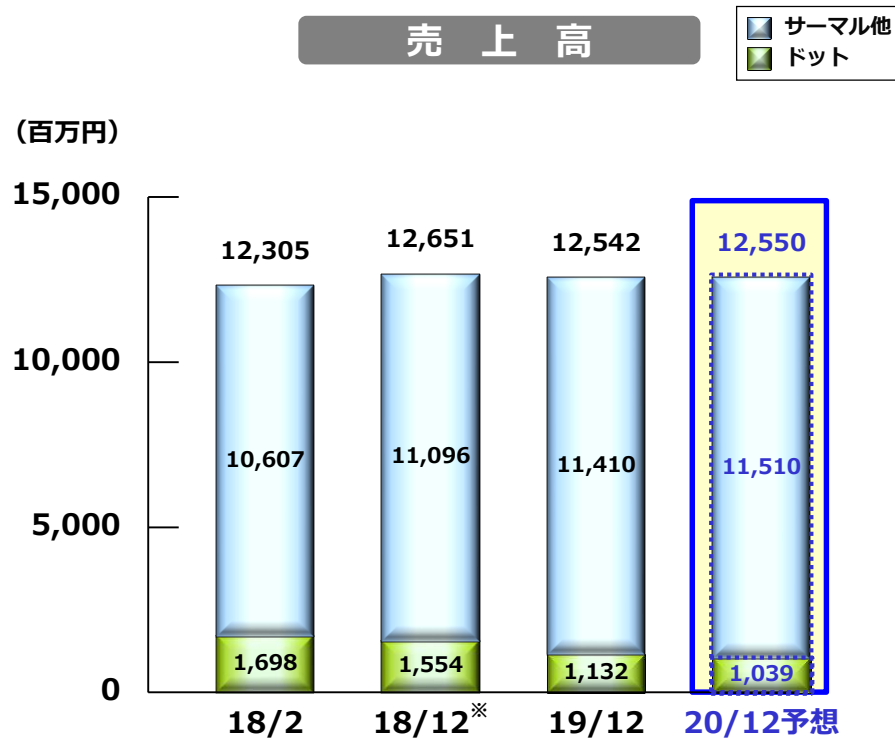
## 売上高



※2018年12月期(参考)として示す数値は、2019年12月期と同じ四半期に置き換えて算出した参考値です。  
2018年2月期は従来決算期によるものです (P.2参照)。



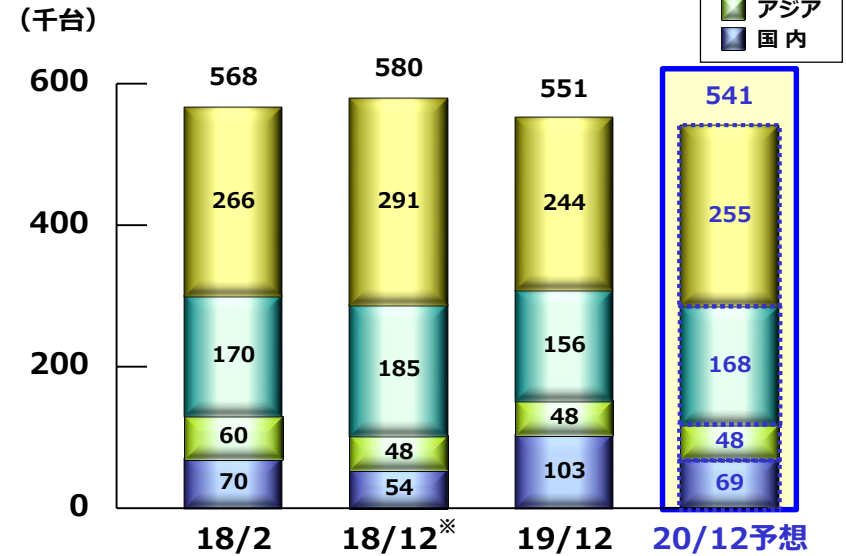
## 売上高



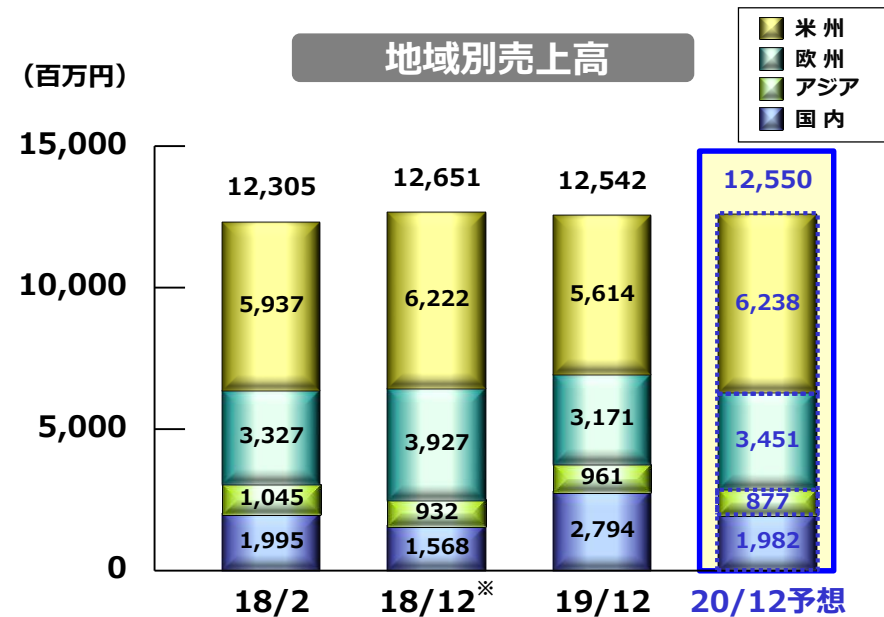
- ・ 米国市場は販売代理店の在庫調整等の影響により低調に推移
- ・ 欧州市場は市況の低迷が続き低調に推移
- ・ アジア市場は中国においてドットインパクト製品の需要が落ち込んだが、その他の地域では堅調に推移
- ・ 国内市場は消費増税に関連する特需もあり好調に推移

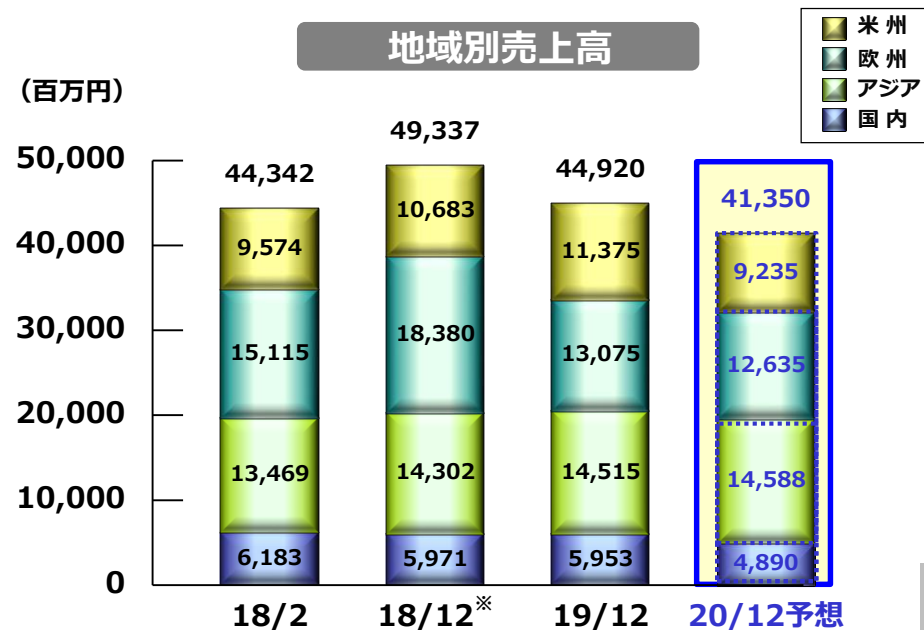
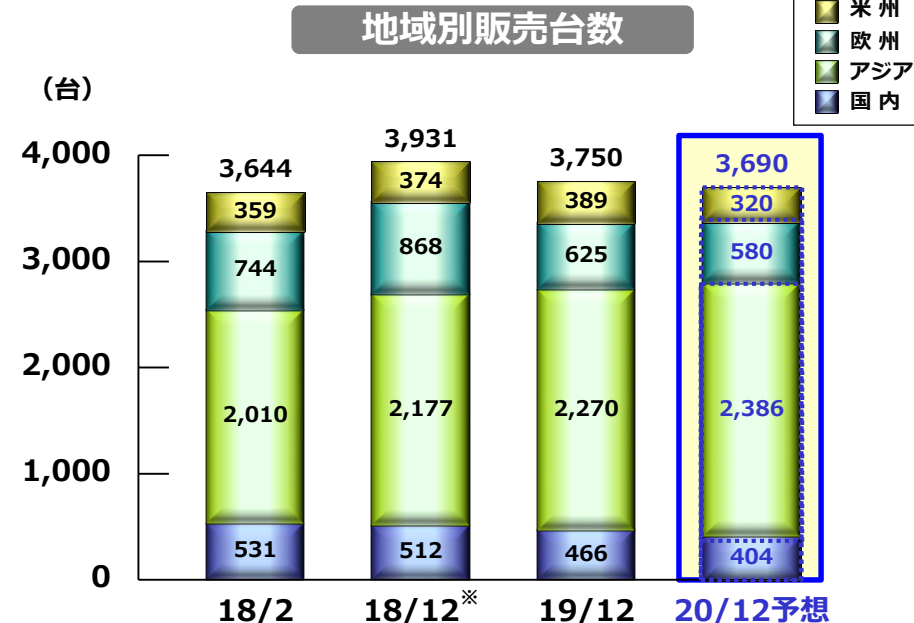
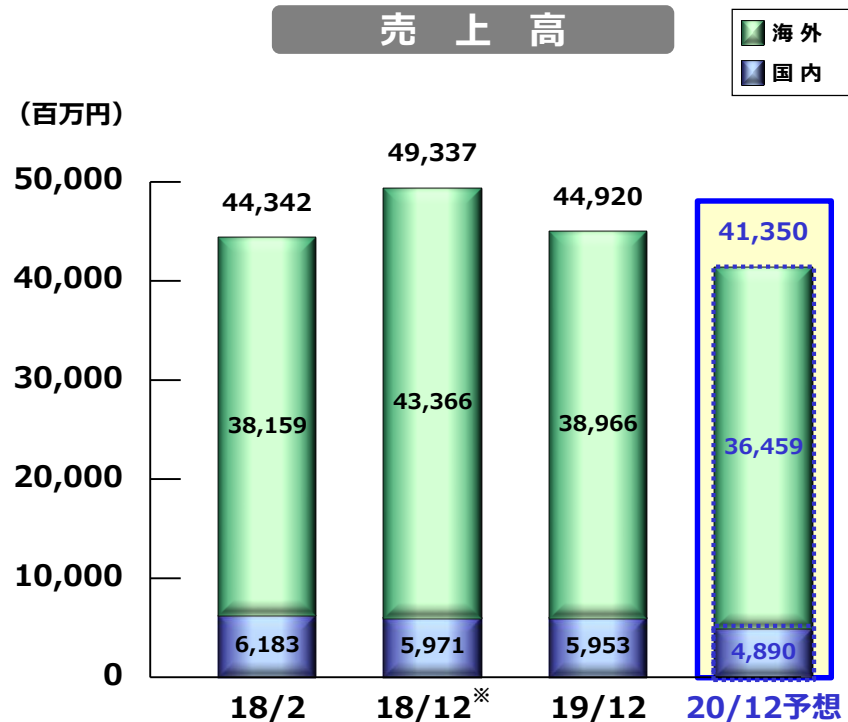
※18/12は当社および国内連結子会社は10カ月、海外連結子会社12カ月を連結対象期間としています。

## 地域別販売台数



## 地域別売上高

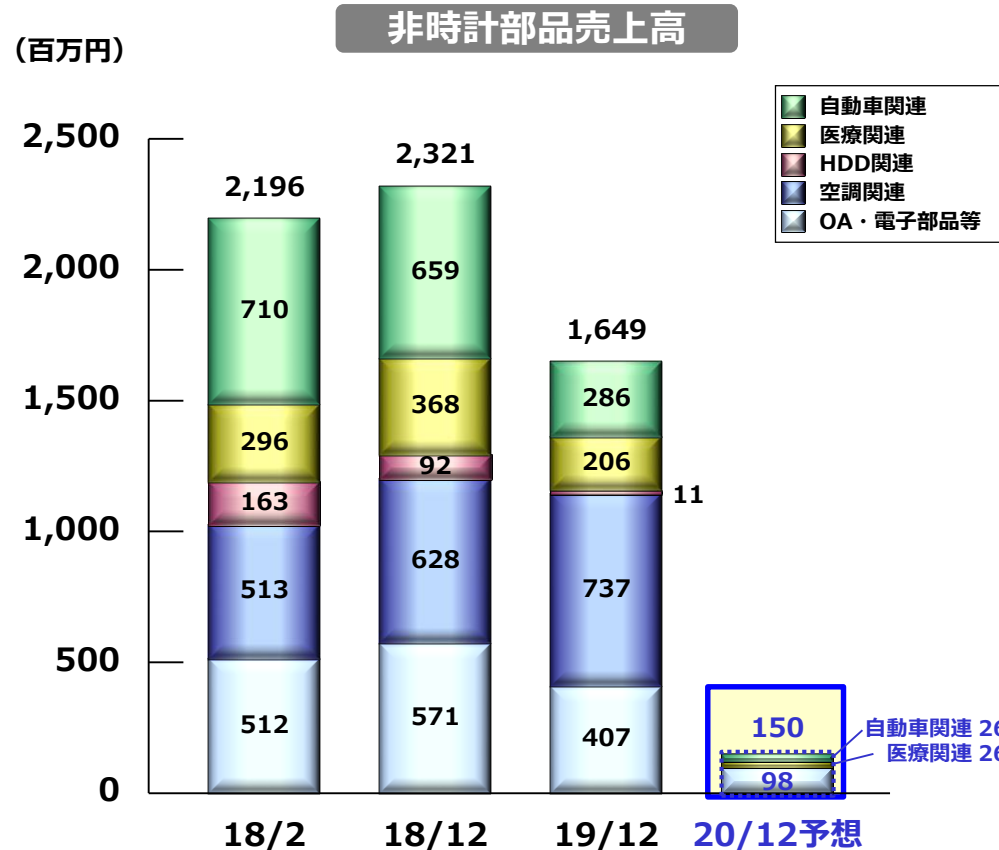
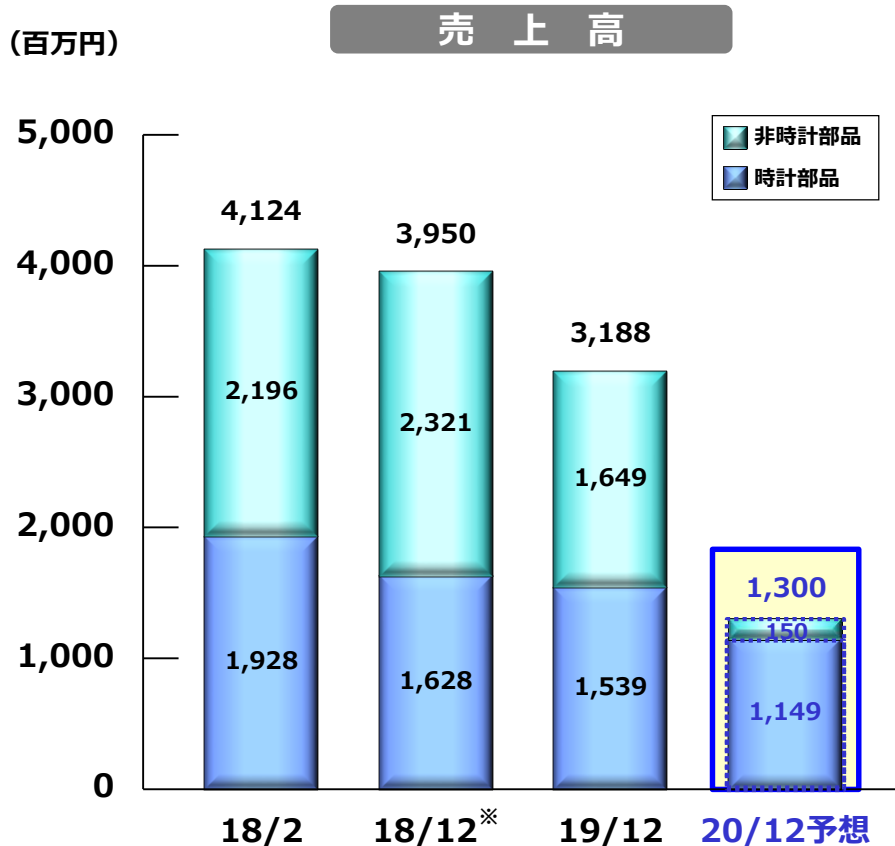




- ・ 米国市場は医療関連を中心に堅調に推移
- ・ 欧州市場は自動車関連を中心に市況が低迷し低調に推移
- ・ アジア市場は中国において医療関連や通信関連が堅調に推移したが、その他の地域では低調に推移
- ・ 国内市場は主力の自動車関連で設備投資に慎重な動きがみられ低調に推移

※18/12は当社および国内連結子会社は10カ月、海外連結子会社12カ月を連結対象期間としています。

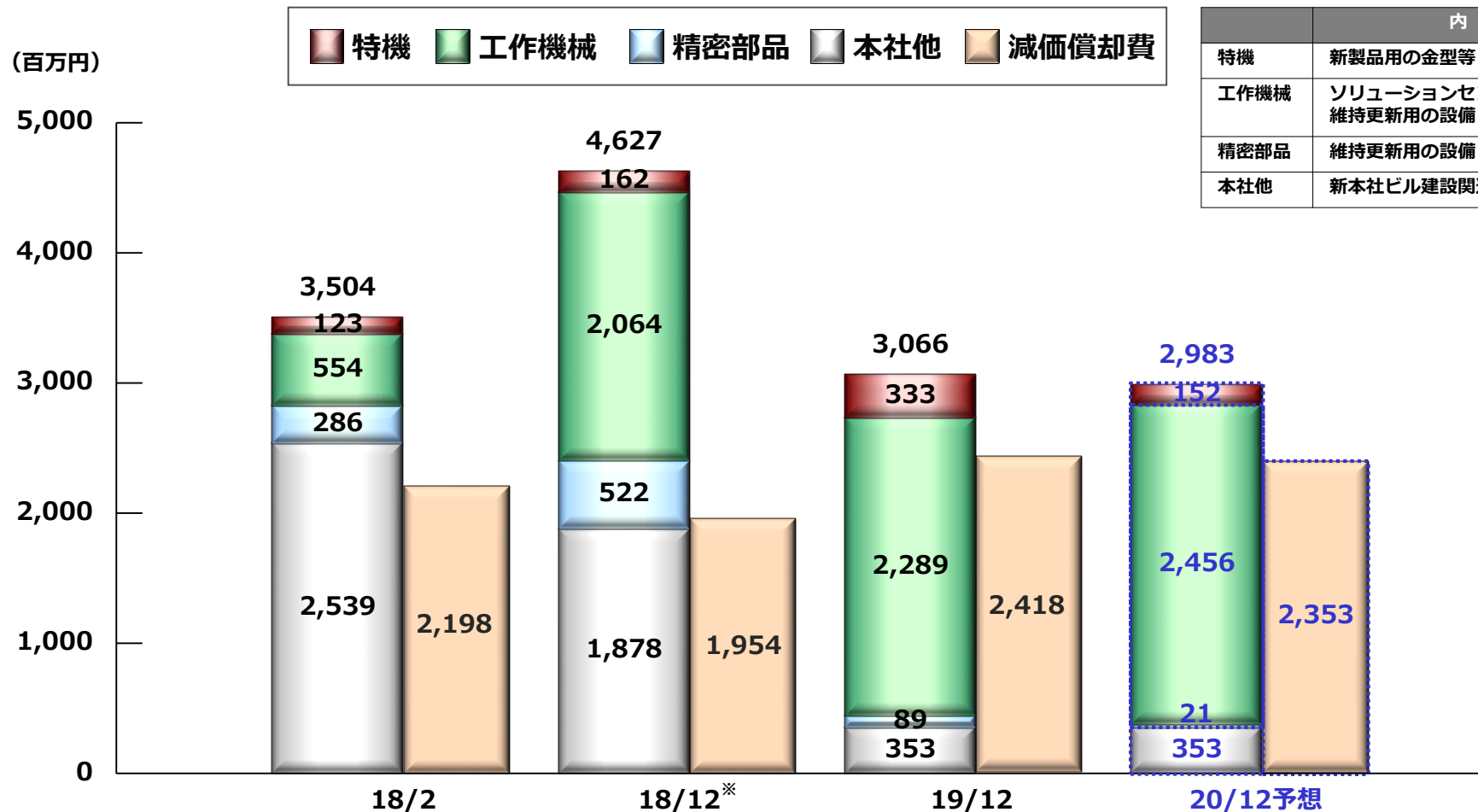




- ・ 時計部品は腕時計メーカーの在庫調整等の影響により、非時計部品は中国における需要の落ち込みや海外生産拠点の再編等の影響により、ともに低調に推移
- ・ 2020年3月末をもって基本的に非時計部門から撤退し、時計部品の製造・販売に集中することにより、当事業の収益性の改善を図る

※18/12は当社および国内連結子会社は10カ月、海外連結子会社12カ月を連結対象期間としています。

## 設備投資



【主な設備投資予定】

	内 訳
特機	新製品用の金型等
工作機械	ソリューションセンター建設関連 維持更新用の設備
精密部品	維持更新用の設備
本社他	新本社ビル建設関連他

## 研究開発費

	18/2	18/12 <sup>※</sup>	19/12	20/12 予想
研究開発費	1,994	1,469	1,679	1,663

(百万円)

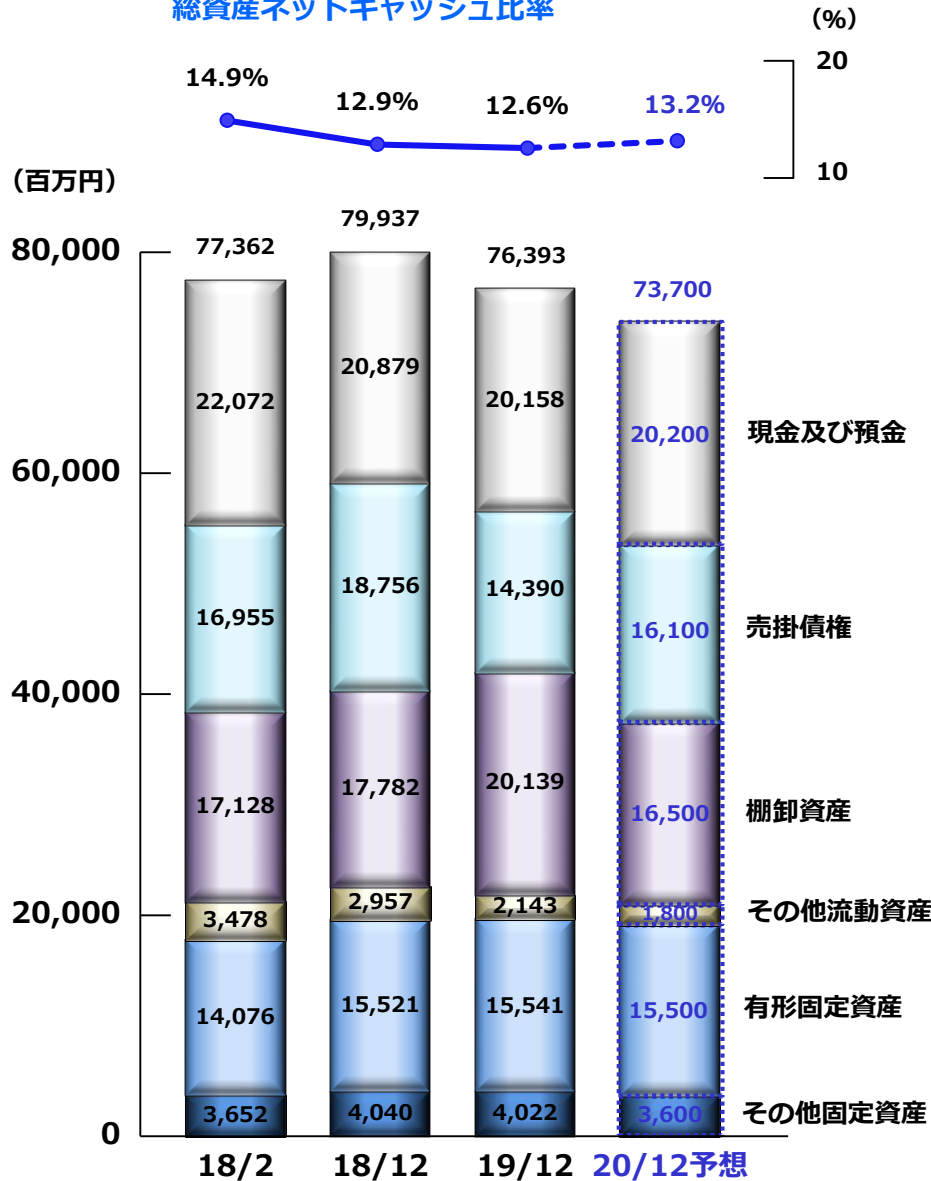
※18/12は当社および国内連結子会社は10カ月、海外連結子会社12カ月を連結対象期間としています。

# 貸借対照表



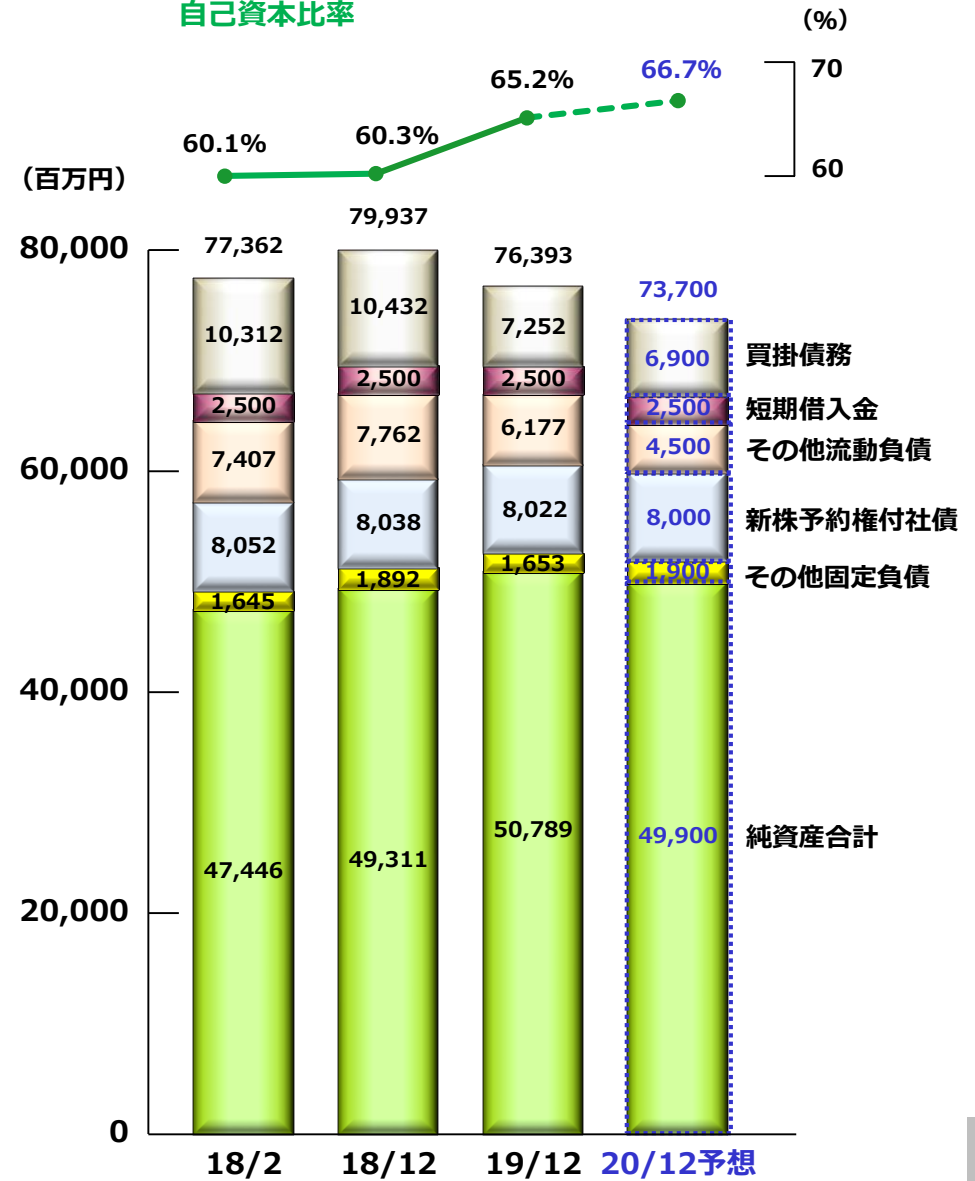
## 資産

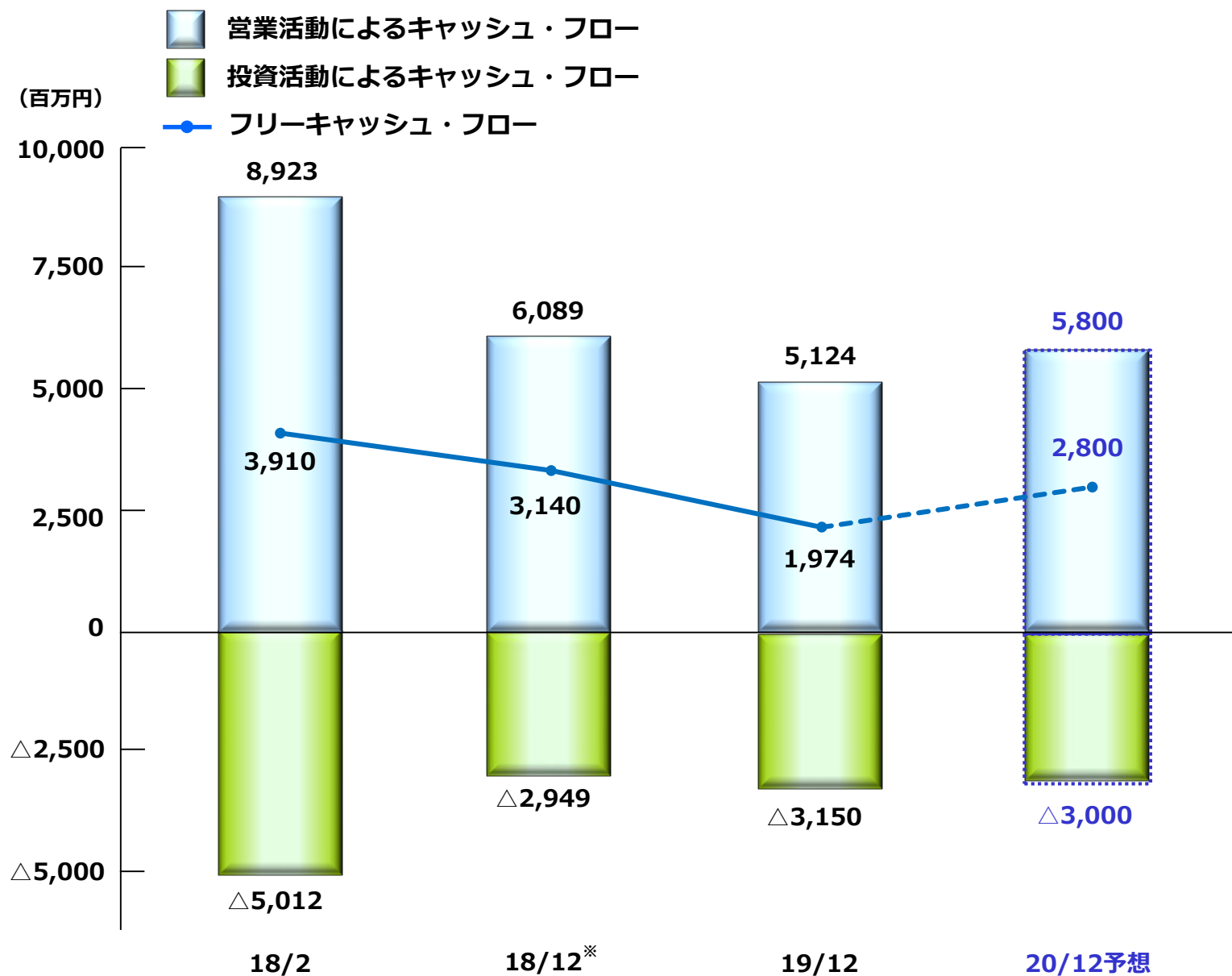
総資産ネットキャッシュ比率



## 負債・純資産

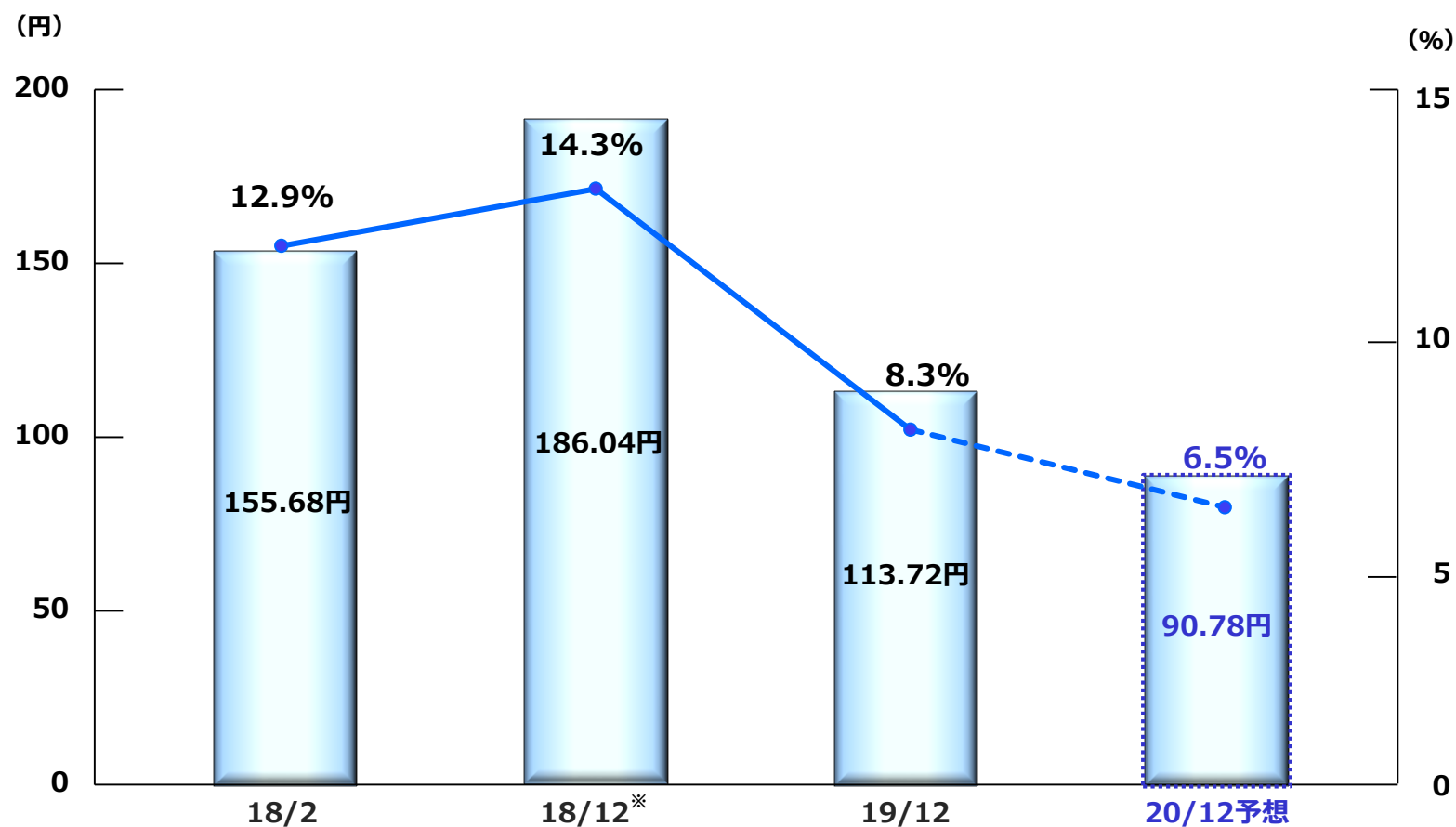
自己資本比率





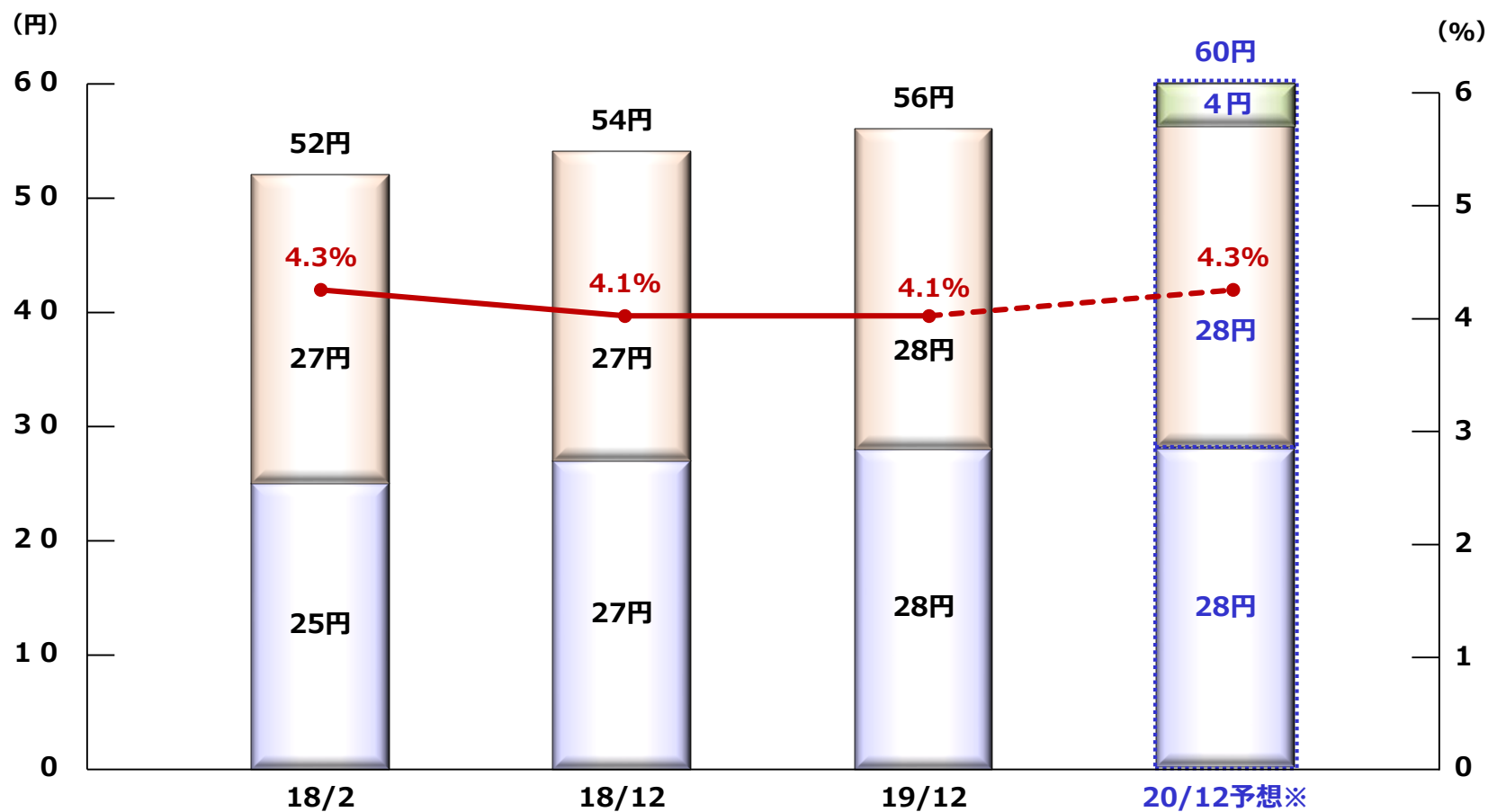
※18/12は当社および国内連結子会社は10カ月、海外連結子会社12カ月を連結対象期間としています。

■ EPS (1株当たり当期純利益)  
 ● ROE (自己資本当期純利益率)



※18/12は当社および国内連結子会社は10カ月、海外連結子会社12カ月を連結対象期間としています。

- ・総還元性向・・・50%以上
- ・目標DOE・・・4.5%以上

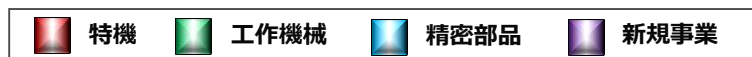


総還元性向	53.1%	55.2%	73.8%	50%以上
-------	-------	-------	-------	-------

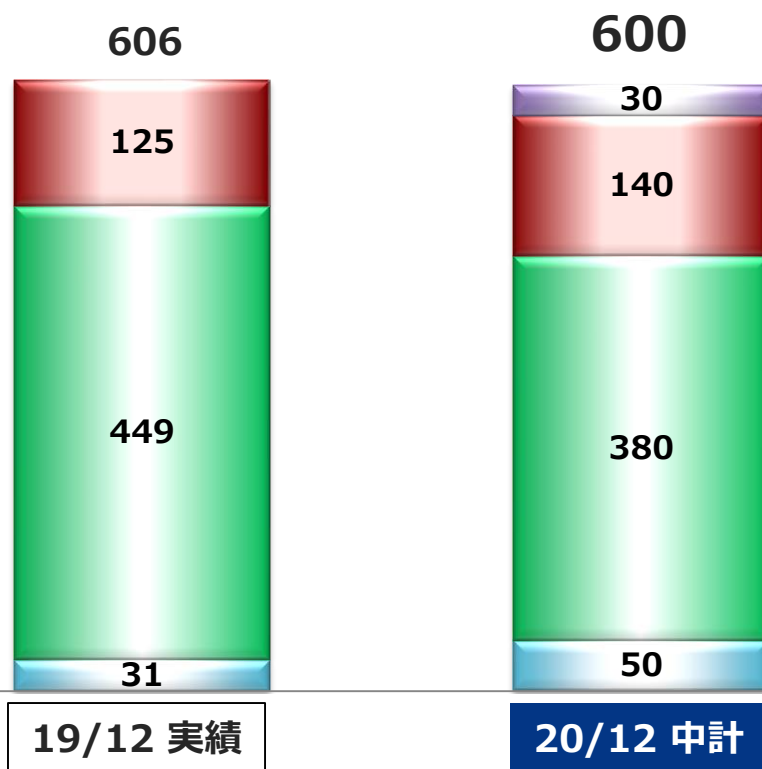
# <中期経営計画 進捗状況>

前期に売上高・営業利益ともに数値目標を達成したものの、  
当期は工作機械事業の減速等の影響により、営業利益は未達となる。

## 売上高

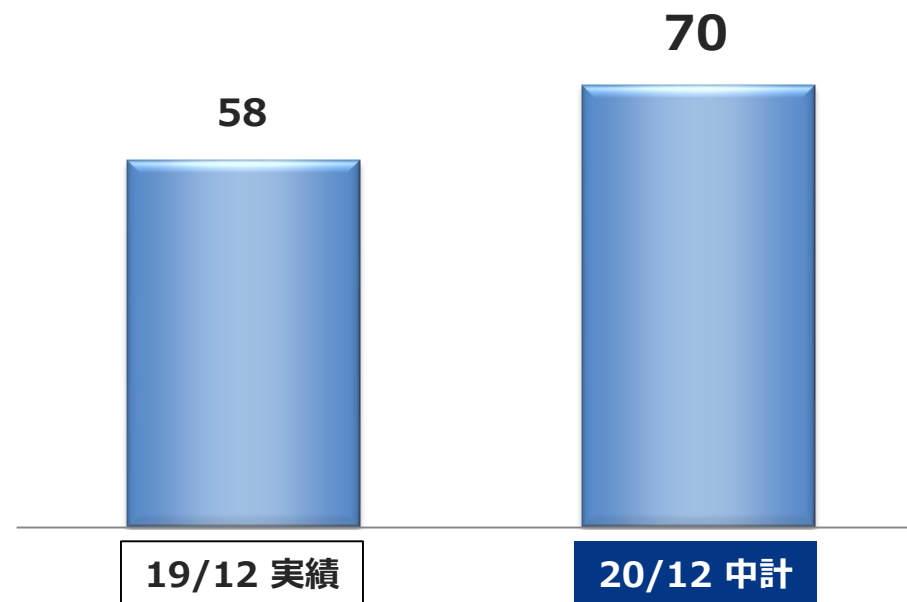


(億円)



## 営業利益

(億円)



		19/12 実績	20/12 中計
為替レート	US\$	109.06円	110.00円
	EUR	122.08円	115.00円

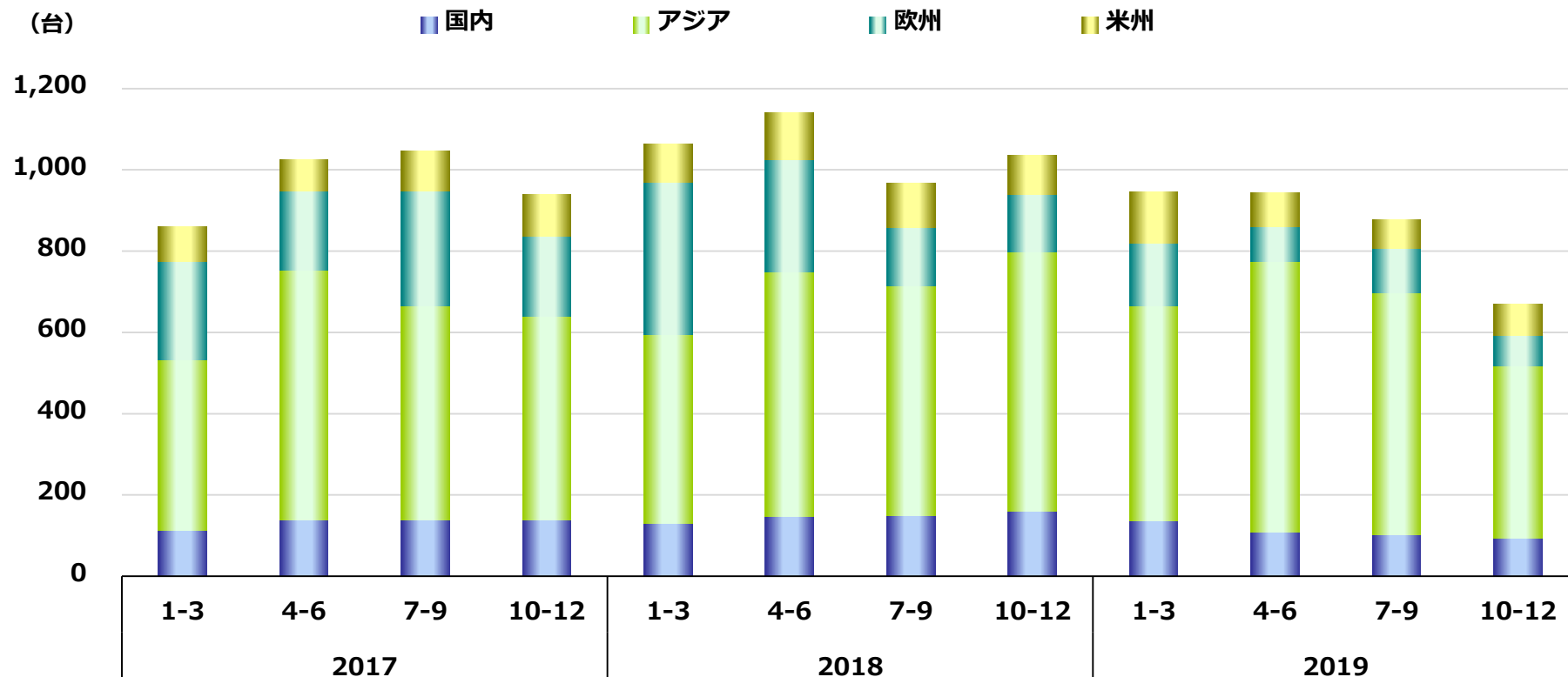


事業別	戦略(重点施策)	取り組み実績・課題
<b>特機事業</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 高付加価値製品の開発</li> <li>■ Brexitを見据えた欧州販売拠点の再編</li> <li>■ サプライチェーン効率化によるコストダウン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ mPOS市場向けブランド「mCollection」の拡販およびラインアップ拡充</li> <li>■ ドイツにおける販売体制の強化</li> <li>■ サプライチェーンマネジメント強化を目指した新システム構築</li> <li>■ ベトナムへの生産移管</li> </ul>
<b>工作機械事業</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 主軸固定型自動旋盤のシリーズ化</li> <li>■ IoT関連ソフトの開発</li> <li>■ モジュラー設計・生産によるリードタイム短縮と在庫削減</li> <li>■ 中国におけるサービス体制強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 主軸固定型自動旋盤の開発推進</li> <li>■ 稼働監視システムの販売開始</li> <li>■ モジュラー設計・生産の製品ラインアップ拡充</li> <li>■ 中国・大連工場における新工場棟の完成</li> <li>■ 菊川工場・ソリューションセンター活用によるビフォア・アフターサービス強化</li> </ul>
<b>精密部品事業</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 新規顧客および市場の開拓</li> <li>■ 生産の合理化・無人化の推進</li> <li>■ IoT活用による稼働率向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 組織の再編および非時計部品からの撤退</li> </ul>
<b>新規事業</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ M&amp;A、事業提携等</li> <li>■ 振動発電</li> <li>■ クラウドサービス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 新規事業企画部門の新設</li> <li>■ 外部との連携による新規事業、M&amp;Aの検討</li> <li>■ 振動発電事業からの撤退およびクラウドサービス事業の体制見直し</li> </ul>

# 〈参考資料〉

# 工作機械受注台数 <四半期推移>

(受注台数)



	2017				2018				2019			
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
米州	86	75	98	103	94	115	109	96	127	82	71	76
欧州	241	197	282	196	375	277	145	141	153	87	108	75
アジア	421	614	528	501	463	602	564	640	529	666	595	425
国内	112	138	138	139	131	146	150	159	137	109	102	93
合計	860	1,024	1,046	939	1,063	1,140	968	1,036	946	944	876	669

※2019年7-9月期の欧州の受注台数につきまして、誤りがあったため前回発表資料より数値（109 ⇒ 108）を訂正しております。

# 経営指標の推移（過去10年間）



	売上高 (百万円)	営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		EPS (円)	ROE (%)	DOE (%)	1株当たり 年間配当金 (円)
		(百万円)	利益率 (%)	(百万円)	利益率 (%)	(百万円)	利益率 (%)				
2011年2月期	35,717	1,428	4.0	1,194	3.3	161	0.5	3.71	0.4	2.5	22.0
2012年2月期	41,654	3,952	9.5	4,025	9.7	2,426	5.8	56.94	6.7	3.0	26.0
2013年2月期	37,858	1,579	4.2	2,254	6.0	2,299	6.1	54.66	6.0	3.3	30.0
2014年2月期	43,481	2,606	6.0	3,219	7.4	1,143	2.6	27.17	2.7	3.4	34.0
2015年2月期	50,957	5,476	10.7	6,150	12.1	4,695	9.2	111.36	9.8	3.9	44.0
2016年2月期	54,457	5,735	10.5	5,206	9.6	3,720	6.8	87.98	7.4	3.9	46.0
2017年2月期	48,937	3,606	7.4	3,583	7.3	3,181	6.5	81.77	6.9	4.1	48.0
2018年2月期	60,772	6,210	10.2	7,015	11.5	5,780	9.5	155.68	12.9	4.3	52.0
2018年12月期 <sup>※</sup>	65,939	9,712	14.7	9,570	14.5	6,795	10.3	186.04	14.3	4.1	54.0
2019年12月期	60,651	5,817	9.6	6,161	10.2	4,053	6.7	113.72	8.3	4.1	56.0
2020年12月期(予想)	55,200	4,600	8.3	4,800	8.7	3,200	5.8	90.78	6.5	4.3	60.0

※2018年12月期は当社および国内連結子会社10カ月、海外連結子会社12カ月を連結対象期間としています。

## 特機 事業



キャッシュドローア&プリンター  
mPOP



小型プリンター  
mC-Printシリーズ



モバイルプリンター  
SM-L200

## 工作機械 事業



主軸固定型自動旋盤 SK-51 type D



スイス型CNC自動旋盤 SR-38J



スイス型CNC自動旋盤 SR-20JII type B

## 精密部品 事業

### 時計部品



### 非時計部品

(自動車用・空調機器用・医療用等部品)

